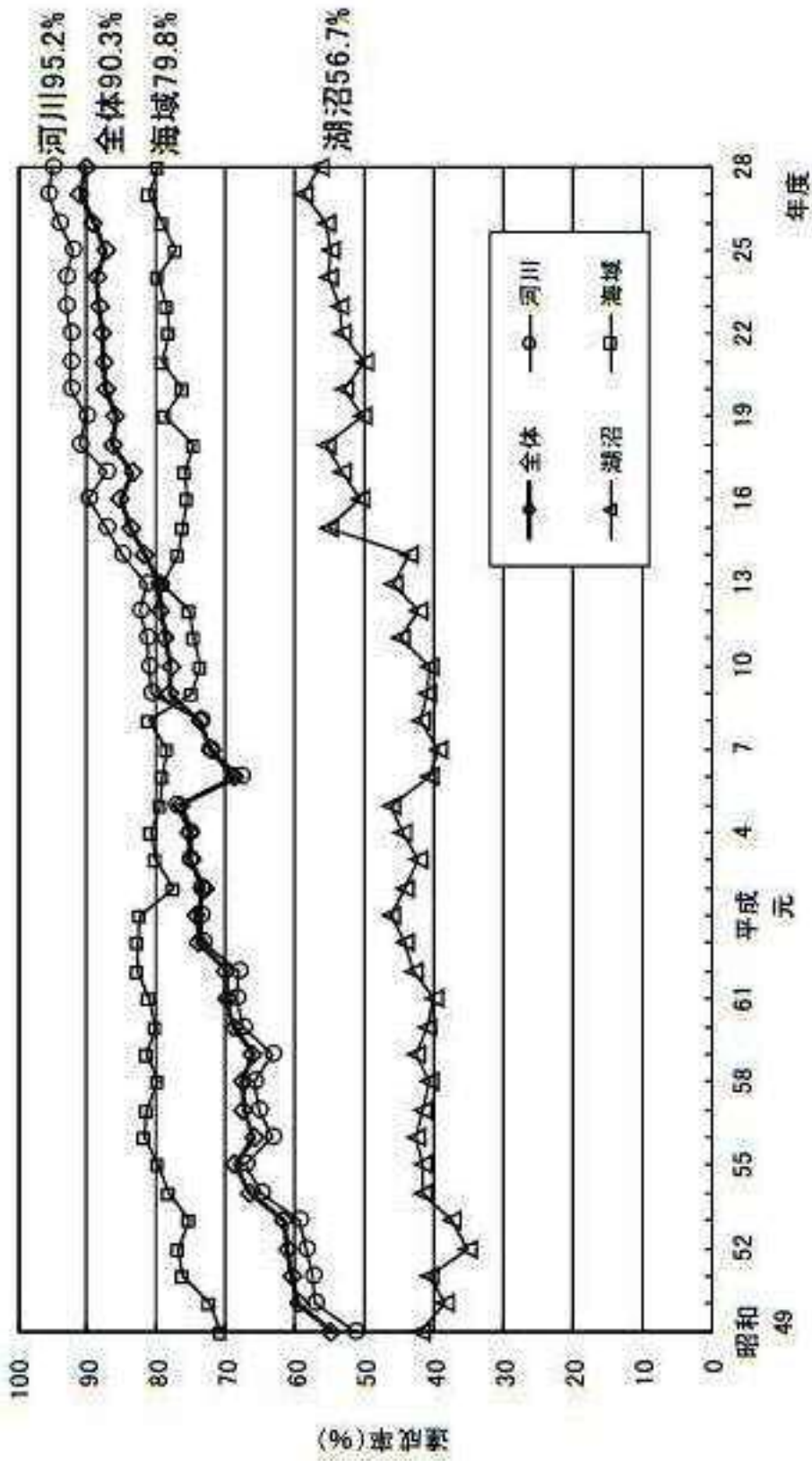


# 【參考資料】

# (1) 全国の水質の状況 ①環境基準達成率

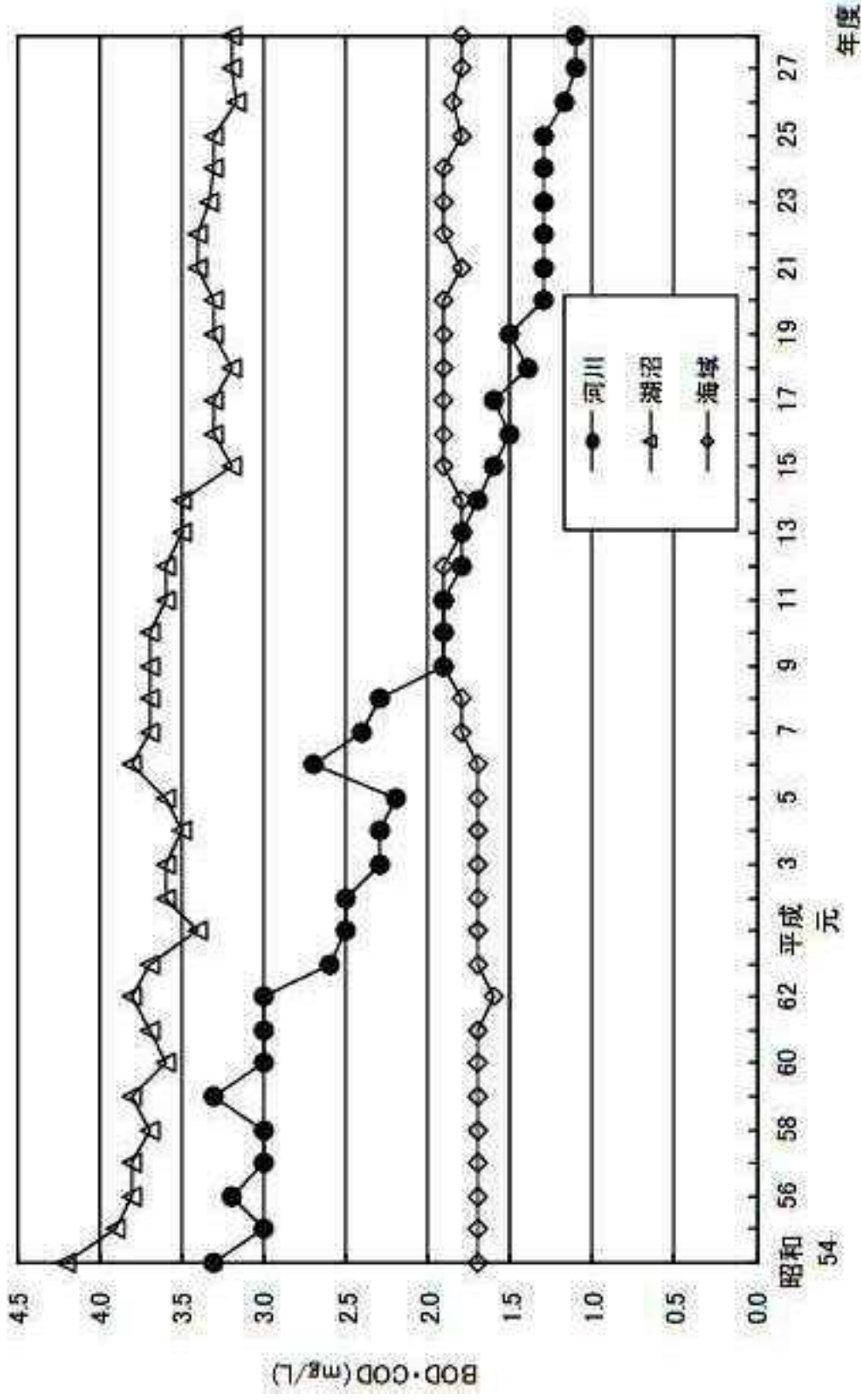


注：河川はBOD、湖沼・海域はCODである。

出典：平成28年度公共用水域水質測定結果（平成29年12月、環境省水・大気環境局）

▲全国の河川、湖沼、海域の環境基準達成率の推移（BOD又はCOD）

# (1) 全国の水質の状況 ②水域群別水質の推移



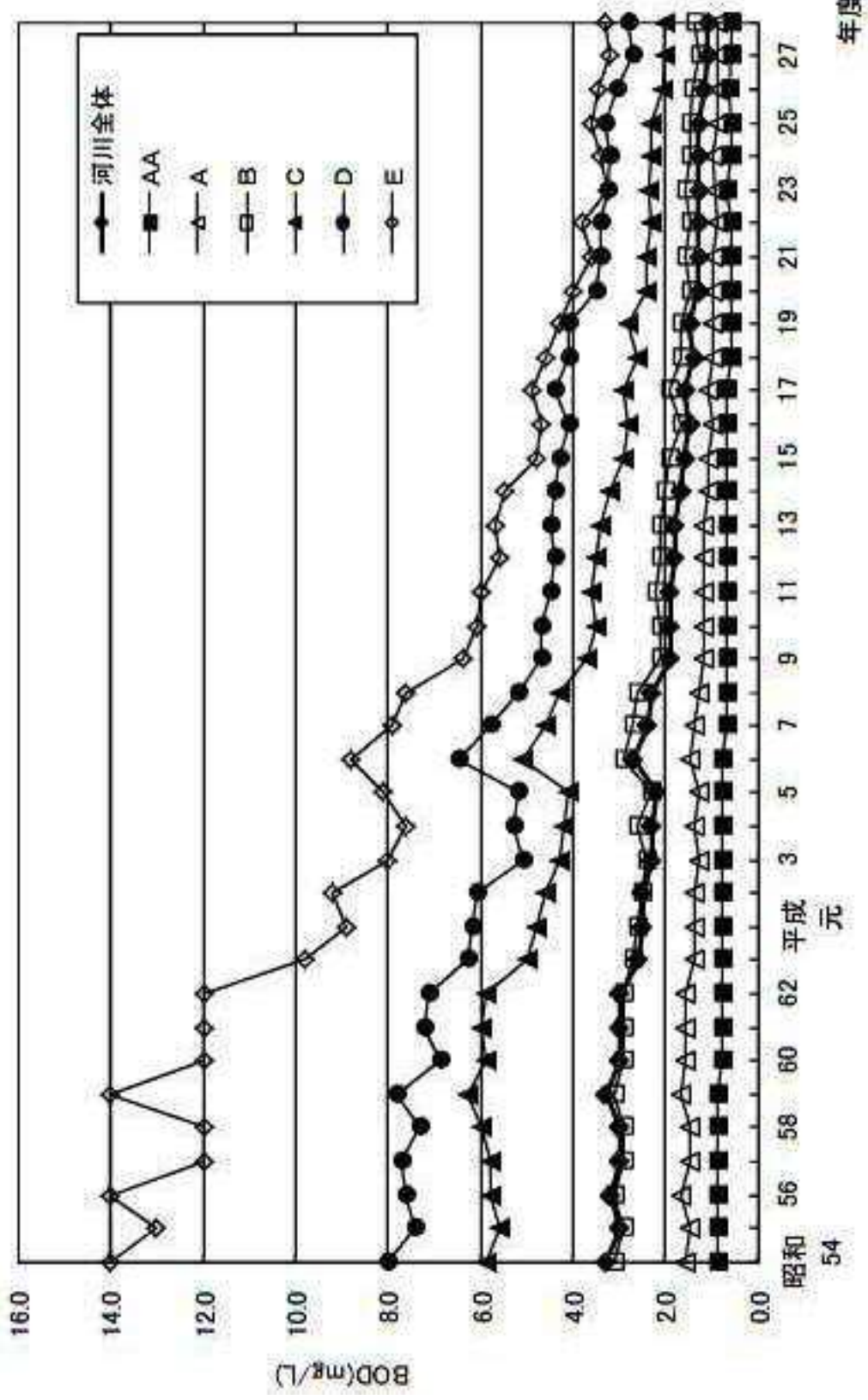
注：河川はBOD、湖沼・海域はCODである。

出典：平成28年度公共用水域水質測定結果（平成29年12月、環境省水・大気環境局）

▲全国の河川、湖沼、海域の水質群別水質の推移（BOD又はCOD年間平均値）

# (1) 全国の水質の状況 ③河川における類型別水質の推移

※油ヶ淵流入河川はC類型

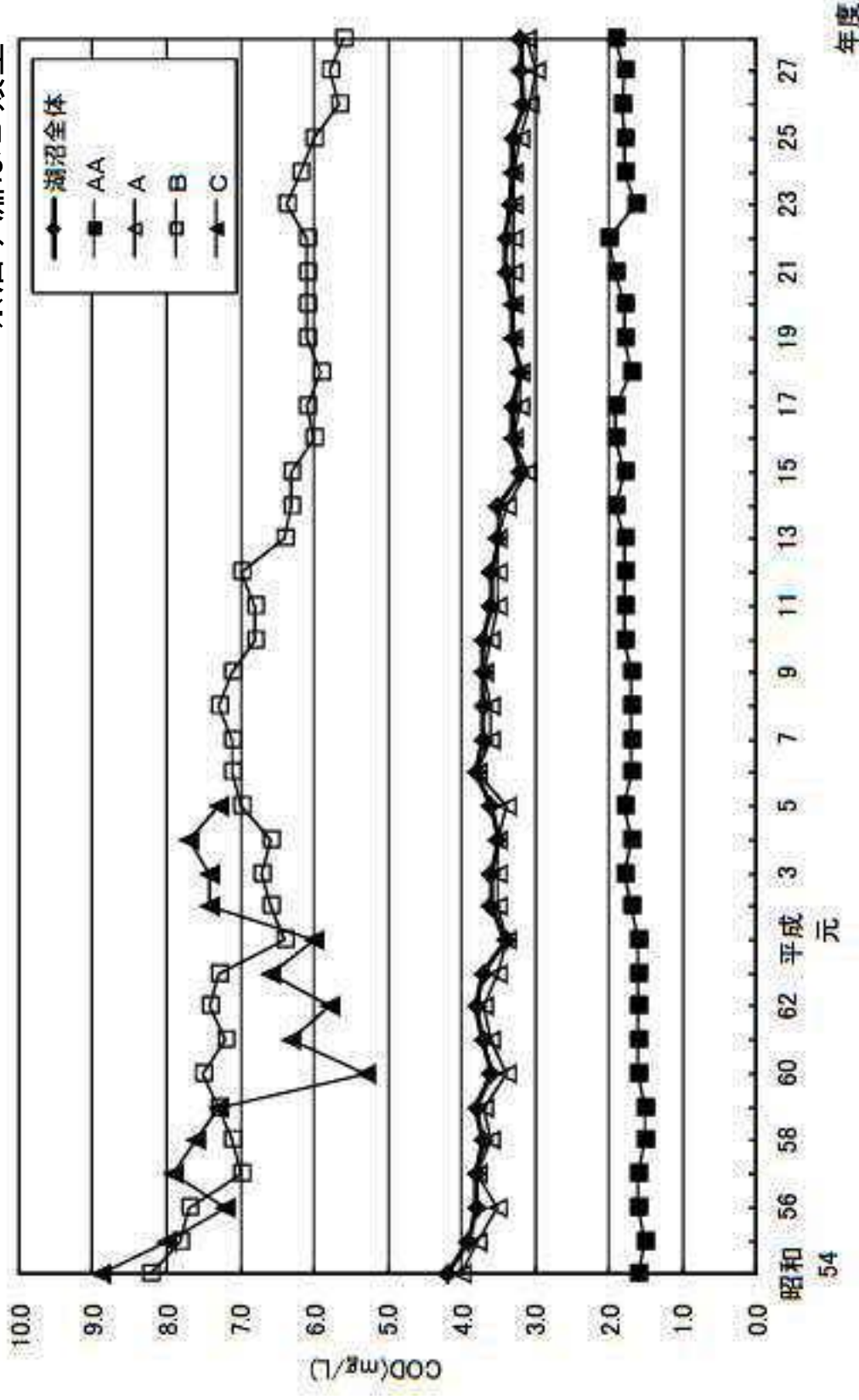


出典：平成28年度公共用水域水質測定結果（平成29年12月、環境省水・大気環境局）

## ▲全国の河川における類型別水質の推移（BOD年間平均値）

# (1) 全国の水質の状況 ④湖沼における類型別水質の推移

※油ヶ淵はB類型

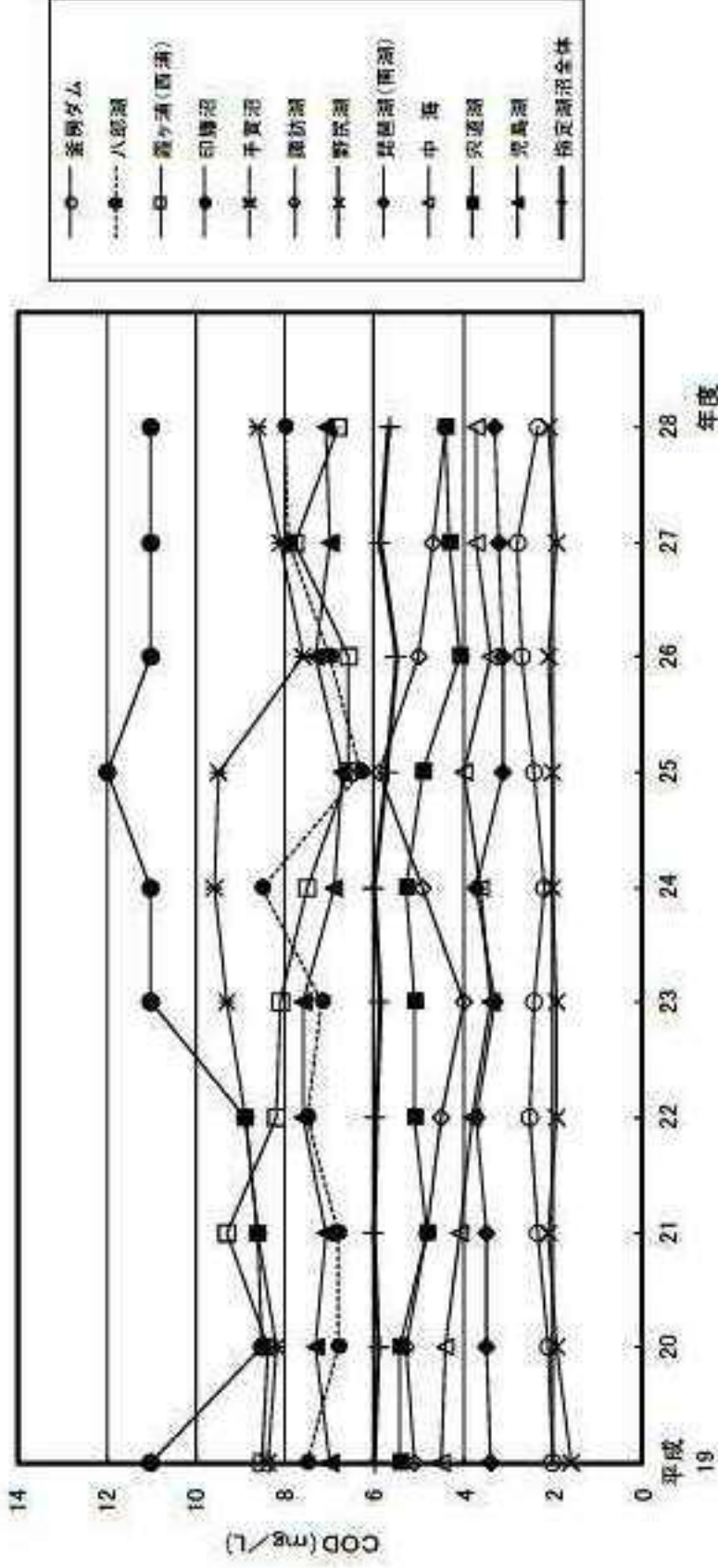


出典：平成28年度公共用水域水質測定結果（平成29年12月、環境省水・大気環境局）

## ▲ 全国の湖沼における類型別水質の推移（COD年間平均値）



# (1) 全国の水質の状況 ⑤指定湖沼の水質状況の推移



出典：平成28年度公共用水域水質測定結果（平成29年12月、環境省水・大気環境局）

## ▲全国の指定湖沼の水質状況の推移（COD年間平均値）

# (1) 全国の水質の状況 ⑥BOD又はCODが高い水域

## ▼全国でBOD又はCODが高い水域（河川、湖沼）

(1) 河川 (BOD、mg/L)

順位	平成28年度			平成27年度		
	類型指定水域名	都道府県名	年間平均値	類型指定水域名	都道府県名	年間平均値
1	ふるかぶ 古川	和歌山県	2.3	はやとぶた(2) 早戸川(2)	茨城県	7.9
2	はやとぶた(2) 早戸川(2)	茨城県	6.8	はなはな 花宗川	福岡県	7.6
3	つるま 鶴生田川	群馬県	6.5	みなとがわ(2) 南部川(古川)	和歌山県	6.8
4	いせへ 磯部川	福井県	6.5	いのがわ(2) 猪名川下流(2)	大阪府・兵庫県	6.5
5	いんば 印旛放水路上流	千葉県	5.9	おがさわら 岡崎川	奈良県	6.5

(2) 湖沼 (COD、mg/L)

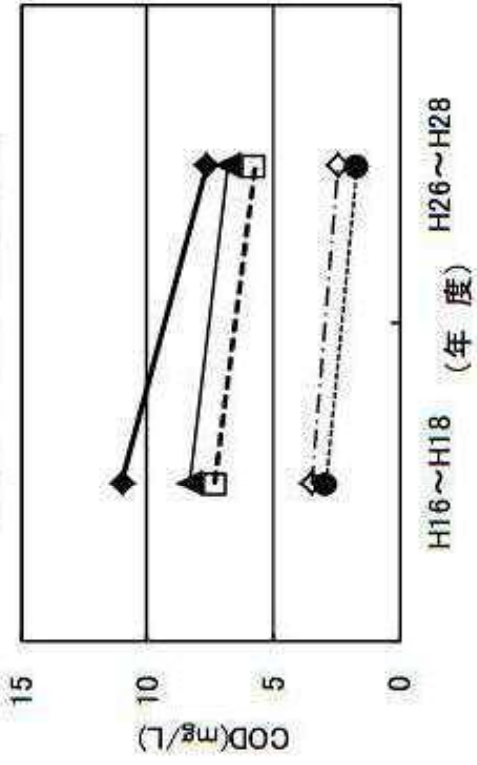
順位	平成28年度			平成27年度		
	類型指定水域名	都道府県名	年間平均値	類型指定水域名	都道府県名	年間平均値
1	いんば 伊豆沼	宮城県	1.1	いんば 印旛沼	千葉県	1.1
2	いんば 印旛沼	千葉県	1.1	ながね 長沼	宮城県	9.1
3	てのめ 手賀沼	千葉県	8.6	いずめ 伊豆沼	宮城県	8.9
4	さねこ 佐鳴湖	静岡県	8.2	きたら 北浦	茨城県	8.9
5	はちろ 八郎湖	秋田県	8.0	はるとりこ 春採湖	北海道	8.5

注：1) 他の生活環境に係る環境基準項目（pH、SS、DO、大腸菌群数）の達成状況に関わらず、BOD又はCODの年間平均値が高い水域から順位を付した。  
なお、BOD又はCODの環境基準値を達成していない水域を対象としている。  
2) 数値は、3桁目を四捨五入した。

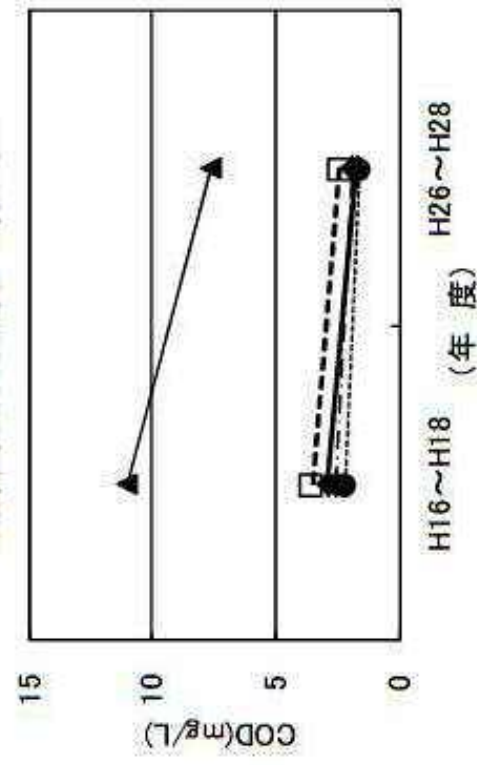
出典：平成28年度公共用水域水質測定結果（平成29年12月、環境省水・大気環境局）

# (1) 全国の水質の状況 ⑦湖沼における水質改善水域

水質改善の上位湖沼(濃度差)



水質改善の上位湖沼(増減率)



濃度差					増減率				
水質改善の上位湖沼									
順位	凡例	類型指定水域名	県名	濃度差	順位	凡例	類型指定水域名	県名	増減率
1	◆	さなるこ 佐鳴湖	静岡県	-3.4	1	◆	あさひがわだむ 旭川ダム	秋田県	-41.4
2	□	あばしりこ 網走湖	北海道	-1.6	2	□	はったばらだむちよすいちら 八田原ダム貯水池	広島県	-31.4
3	▲	あぶらがふち 油ヶ淵	愛知県	-1.5	3	▲	さなるこ 佐鳴湖	静岡県	-30.9
4	●	あさひがわだむ 旭川ダム	秋田県	-1.2	4	●	みどりかわわだむちよすいちら 緑川ダム貯水池	熊本県	-27.3
5	◇	はったばらだむちよすいちら 八田原ダム貯水池	広島県	-1.1	5	◇	たてしなこ 蓼科湖	長野県	-26.9

注：1) 濃度差は、(H26～H28年度のBOD又はCOD平均値) - (H16～H18年度のBOD又はCOD平均値) で算出  
 2) 増減率は、濃度差 ÷ (H16～H18年度のBOD又はCOD平均値) × 100、で算出。

出典：平成28年度公共用水域水質測定結果（平成29年12月、環境省水・大気環境局）

## ▲湖沼における水質改善水域

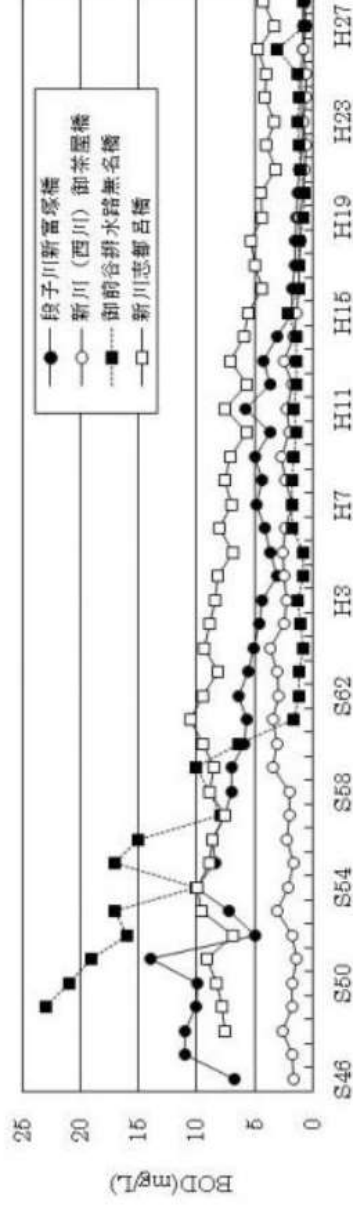
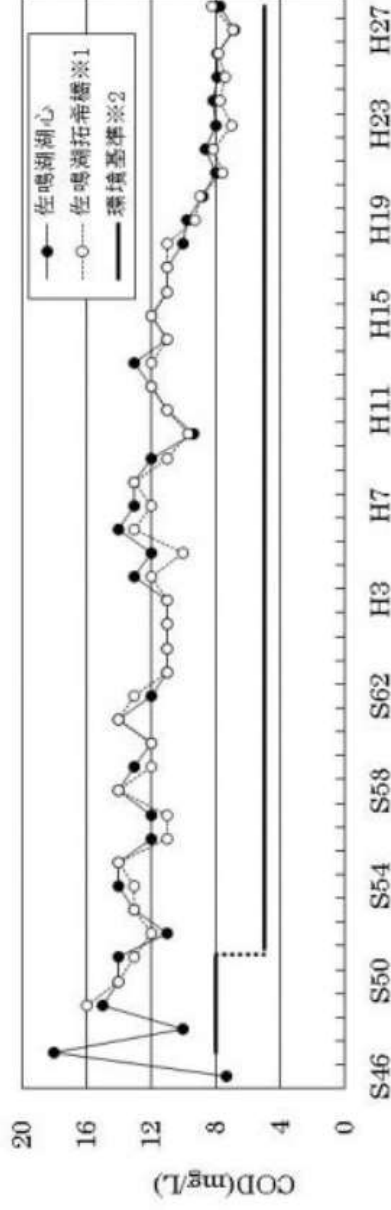


## (2) 他水域のCODの状況

### ▼ 他水域のCODの状況

他水域	COD年平均値 (mg/L)
入鹿池(愛知)	3.6
衣浦港(愛知)	5.0
霞ヶ浦(茨城)	7.4
佐鳴湖(静岡)	8.2

資料：環境省、各県の公共用水域水質調査結果



### (3) 他水域のクロロフィルの状況

#### 他水域のクロロフィル濃度

他水域	クロロフィルa年平均値 ( $\mu\text{g/L}$ )
入鹿池(愛知)	9.0
衣浦港(愛知)	27.0
霞ヶ浦(茨城)	45.0
奈良俣ダム(群馬)	2.7
下久保ダム(埼玉)	1.1
矢木沢ダム(群馬)	1.9
早明浦ダム(高知)	1.7
川俣ダム(栃木)	1.9
二瀬ダム(埼玉)	10.8
草木ダム(群馬)	15.3
藤原ダム(群馬)	2.4
松原ダム(大分)	12.0
大川ダム(福島)	4.8
横山ダム(岐阜)	6.6
四十四田ダム(岩手)	3.0
丸山ダム(岐阜)	6.0
天ヶ瀬ダム(京都)	12.8
池田ダム(徳島)	1.4
渡良瀬遊水地(栃木・群馬)	83.3

資料：環境省、各県の公共用水域水質調査結果